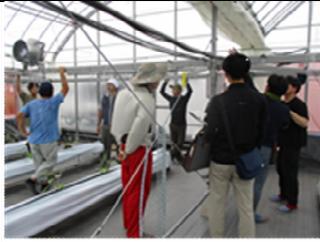


## 普及活動情勢報告（令和7年10月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### みんなで栽培技術を高め合おう！ ～奈半利町園芸研究会～



意見交換する参加者

9月24日、奈半利町園芸研究会がナスほ場で現地検討会を開催し、新規就農者を含む生産者8人が参加しました。

農業改良普及課からは、10月以降のかん水管理や病害虫について情報提供しました。また、新規就農者にSAWACHIデータ共有グループへの加入を勧めました。

ベテラン農家からは、「整枝が遅れており、早急に対応すべきだ」「過度な整枝に気をつけるように」と新規就農者に対して助言があり、互いに学び合う場になりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、産地の収量が向上するよう支援していきます。

### 収量増加を目指して ～（一社）なはりの郷のイチジク栽培～



処理を実演する  
普及指導員

9月24日、（一社）なはりの郷のイチジクほ場で熟期促進に向けた植物生長調整剤の実証試験を行いました。

農業改良普及課は、気温の下がる10月以降も安定して収穫したいとの要望を受け、植物生長調整剤の利用を提案し、当日は処理方法等について説明し、散布処理を実演しました。

イチジクの栽培担当者からは、「結果が良ければ来年以降も処理したい」との声が聞かれました。

今後、農業改良普及課は処理後の果実の大きさや重さ等を調査し、来年度の処理方法の改善に繋げていきます。

### ユズの本格的な収穫がはじまります！ ～柚子部目慣らし会の開催～



普及指導員の説明を  
熱心に聞く参加者

10月5～8日、安芸市内の4地区でJA高知県安芸地区柚子部畑山・東川支部が、酢玉の受入時期や内容等の徹底を図るため、令和7年産ユズの出荷目慣らし会を開催し、生産者延べ247人が参加しました。

農業改良普及課は、収穫前の防除や秋肥の施用、収穫時の高所作業による事故の防止等について指導しました。安芸ユズ工場長からは「極力取り残しのないように収穫をお願いします!」などの呼びかけがありました。

参加者からは、「今年は若干着色が早い」「アザミウマ類の発生が見られる地区がある」などの声が聞かれ、参加者同士の情報交換も見られました。

農業改良普及課は、今後も需要に応じた安定的な加工用ユズ生産ができるよう支援していきます。

### ナスの規格を確認 ～芸東ナス部会目慣らし～



普及指導員の話聞く  
参加者

10月8日、羽根集出荷場でJA高知県芸東集出荷場ナス部会が目慣らし会を開催し、部会員15人が参加しました。

会では、出荷規格の再確認と栽培管理の情報交換が行われました。

室戸支所は、下位側枝の除去による作業の省力化やすすかび病の防除体系について説明しました。

参加者からはRACコードの確認方法や混用事例など農薬についての質問が多く、農薬の安全使用に対する意識の高まりがうかがえました。

室戸支所は、今後もナスの高品質安定生産に向けて支援していきます。

### アルゼンチンの研究者と技術交流 ～芸西ブルースター開発部会～



研究員に説明する  
生産者

10月14日、芸西村でJA高知県芸西支所園芸研究会花卉部ブルースター部会の生産者の有志で集い組織した「芸西ブルースター開発部会」が、ブルースターの技術交流を実施し、部会員5人、アルゼンチン国立花卉研究所研究員2人、関係機関等6人が参加しました。

農業改良普及課は、芸西村の花き栽培の現状について紹介しました。

研究員からは、一年間の作業、土づくり、病害虫の発生状況、収穫後の管理、育種等幅広い内容で質問がありました。

農業改良普及課は、今後も花きの生産振興に向け、部会活動を支援します。